

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）

カテゴリー	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																					
人権・労働		【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	就業規則を基本とした社員教育の徹底と、日々の朝礼、終礼による各部門の責任者によるチェック、毎週一回の全社員からのレポートや意見提出による経営者による問題の把握及び対処。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8	10.2 10.3					16.1 16.2 16.7			
		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	就業規則にハラスメント禁止を明記、社員教育の徹底と、日々の朝礼、終礼による各部門の責任者によるチェック、毎週一回の全社員からのレポートや意見提出による経営者による問題の把握及び対処。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8						16.1			
		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	労働基準法を経営者及び管理職が把握し、時間内に仕事を終わらせ、余暇の時間に使うよう推奨している									8.5 8.8								
		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	【予定】現在は外国人の雇用は無いが、将来的には雇用する予定もあり、社員ミーティングなどで差別の無いよう徹底していく				4.4					8.7 8.8	10.2 10.3							
		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	毎朝の朝礼による安全管理の指示の徹底、現場責任者による見回りや現場労働者からの意見の収集による改善			3						8								
		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	メンタルヘルスを維持できるよう、経営者や管理職とのコミュニケーションの徹底、毎週一回のレポート提出による問題点の把握と対策を行っている			3														
		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	経営者や管理職年齢や性別による差別の無いコミュニケーションの徹底					5.1 5.5				8.5	10.2 10.3							
		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	世界レベルのスキー場運営ノウハウの教育、社内講習会の開催などを行っている				4	5.5				8	9							
		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	パートタイム労働法、労働契約法等の改正内容を理解し、同一労働同一賃金等の原則に従った体制の整備対応を行う					5.5				8.5	10.2 10.3							
		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ				3						8								
環境		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	廃棄物の量の把握をし、削減に向けて取り組んでいる										11.6	12		14.1				
		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	省エネ診断を計画している									7.3				13				
		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	【予定】化石燃料を大量に使用し排気ガスによるCO2を大量に排出するエンジン搭載型ではなく、エネルギー効率の良い最新型電気式降雪機の導入を予定									7.2 7.3			12.4	13.3				
		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	法令で規制されている有害化学物質を把握し、削減のための計画を策定している			3.9				6.3				11.6	12.4					
		【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	制作物などに環境に配慮した材料の選定などを心がけている							6.6							15			
		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	木材の内装や鉄などを再利用した什器備品の自社制作による再利用などに取り組んでいる													13	14.1			

17

【水の管理】

・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる

チャレンジ

社員の節水を心がけ、お客様にも呼びかけている

6.4
6.6

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）

・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）